

CASBEE-広島 2014年版			■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版						
学校法人安田学園白島キャンパスⅠ・Ⅱ期建替計画 幼稚園舎			■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)						
			欄に数値またはコメントを記入						
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.5
Q1 室内環境						0.40		-	3.3
1 音環境					3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音			Dr-40		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					3.7	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能					3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能					4.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					4.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			Lr-55		4.0	0.20	-	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境					3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-	
1 室温					3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 昼光利用			庇が3mあり、更にカーテンやブラインドを併用している		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率					3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口					-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策					4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御			庇が3mあり、更にカーテンやブラインドを併用している		4.0	1.00	-	-	
3.3 照度			保育室照度：500lx		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策			建築材料はF☆☆☆☆を70%以上に採用		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
4.2 換気					3.6	0.30	-	-	
1 換気量			保育室換気量：建築基準法での必要換気量の1.8倍		5.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能			自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上		5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			全館禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.2
1 機能性					3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	-	-	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					3.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画			幼稚園という特性を活かしたインテリア計画としている		5.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			維持管理がしやすい、また汚れにくい材料を選定している		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			評価ポイント8:トイレ毎に掃除流し設置、照度確保等		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震			建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			レンガ調タイルを採用		5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			シナ合板を多く採用している		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水管VLP、排水管VP、通気管VP		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	耐震クラスA	2.8	0.20	-	-	2.7		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-			
	3 対応性・更新性			2.7	0.30	-	-		2.7	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	壁長さ比率は0.19	2.2	0.30	-	-			
		2		空間の形状・自由さ	1.0	0.60	-		-	
	3.2 荷重のゆとり	4.0		0.40	-	-				
		3.0		0.30	-	-				
	3.3 設備の更新性	3.0		0.40	-	-				
		1		空調配管の更新性	3.0	0.20	-		-	
		2		給排水管の更新性	3.0	0.20	-		-	
		3		電気配線の更新性	3.0	0.10	-		-	
		4		通信配線の更新性	3.0	0.10	-		-	
		5		設備機器の更新性	3.0	0.20	-		-	
		6		バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-		-	
		Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-		-	4.1
	1 生物環境の保全と創出			園庭にビオトープを設置している	4.0	0.30	-		-	4.0
	2 まちなみ・景観への配慮			街並みになじむデザイン、外壁の選定を心がけた	5.0	0.40	-		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-					
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2			
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m ＝0.61	4.0	0.20	-	-	4.0			
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0			
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.93 住宅(専有部) -	3.0	0.50	-	-	3.0			
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00	-	-				
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-				
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0			
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-				
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-				
			3.0	0.50	-	-				
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-				
			3.0	-	-	-				
	集合住宅の評価		3.0	-	-	-				
			1.0	-	-	-				
	LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1		
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4			
1.1 節水	節水コマ、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-					
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-				
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-			
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-					
	2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2		
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		解体・更新の際、内装材と設備をそれぞれ取り出し可能	5.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6			
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-				
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70	-	-				
	1	消火剤	-	-	-	-				
		2	発泡剤(断熱材等)	2.0	0.50	-	-			
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-			
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7		
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ が一般的な建物と比較して41%	5.0	0.33	-	-	5.0			
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0			
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-				
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-				
	1	雨水排水負荷低減	4.0	0.25	-	-				
		2	污水处理負荷抑制	3.0	0.25	-	-			
		3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-			
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-			
	3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-				
	1	騒音	3.0	1.00	-	-				
		2	振動	-	-	-	-			
		3	悪臭	-	-	-	-			
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-			
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-			
2			砂塵の抑制	3.0	-	-	-			
3			日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-			
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-			
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-				
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-			